
無気力人間の一日

まったりorz

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

無気力人間の一日

【Nコード】

N1642B

【作者名】

まったりorz

【あらすじ】

作家志望の女が、出版社から帰る途中。あらすじは特にないです。

何編かの詩を綴った。

担当の人間は、

「出版して利益の見込めないものはちょっと」と苦笑した。

たしかに、無名の、平凡な人生を送ってきた人間の愚痴っぽい詩集を出したところで、利益なんてもたらされないだろう。

「良ければ恋愛詩か、恋愛小説を書いてもらえませんか？」

拳句の果てにはそんな事まで言い出す始末。

「見たところ、素質はあるようですし、どうですか？」

フォローのつもりなのかもしれないが、それは私を挫けさせるのに十分だった。

ああ、面倒臭い。

出版社のビルを出て、ビルに囲まれた小さな広場のベンチへと腰を下ろす。

やっと煙草が吸える。

風は冷たくて、ビルの影になり、陽の届かないこの場所は、寒かった。

こんな寒い場所で煙草を吸わなきゃいけない現実に苛々する。

そもそも、大事な話があるから来てくれと言ってきたのは、出版社の方だった。

たまたまその出版社の主催する文芸賞に何編かの詩を送った。
繋がりはそれだけだ。

恋愛詩なんて、
バカにされたとしか思えない。

盛大な溜め息をついて、ビルの合間から見える大通りを見つめる。

休日の昼さがり、
キツイ化粧に、ピンヒールで歩く女、独特な立ち姿でいかにもキャッチですって男、ミニスカートにヘソだしてマフラー巻いてるチグハグな女の子、

人は絶え間なく歩き続けている。

私は同じ空間にいるはずなのに、ビルの合間の先に見える世界は、別世界なんじゃないかと思う。

自分だけ、何かから置き去りにされているような。

恋愛詩でも書けば、夢や希望や純愛や、そんな話を書いたら、私もあつちの世界に行けるだろうか。

そんな事を考えてみて、また溜め息をつく。

違う。私は書かないんじゃないかと書けないんだ、と。

私は、人を引き込めるような大恋愛だっと思ってないし、憧れてもいない。

見よう見まねで書いたって、本当の私は置き去りのままだ。

太宰治は、

「芸術は市民への奉仕だ。」

って言ったけど、そもそも私自身が平凡な市民だし、奉仕精神なんて持ち合わせてないし。

ぐだぐだと言い訳を考えて、バカらしくなった。

それでも人の多く大通路を通って帰る気持ちにもなれなくて、暇つぶしに携帯で、小説サイトを開いた。

沢山の投稿小説を適当に開きながら、目を通す。

一体、この投稿者たちは、何を考え、何のために、小説を書いているのだろう。

前向きな内容もあれば、後ろ向きな内容もある。ここには乱雑に、色んな言葉や感情たちが氾濫している。

それらの作品はそれぞれに何かを求めているのかもしれない。

賞賛か理解かそれとも証明か。

適当に目についた小説を読もうとしたが、どうも頭に入っていない。

無機質な画面にただの記号の羅列。

誰かが、何かを求めて書いたであろう文章は、私の中に入ることなく滑り落ちていく。

ああ、今日は駄目だ。

私の頭は正常に機能していない。

ぼんやりと、灰色がかった空を見上げる。

私は、何のために、詩なんて、書いたんだっけ？

カタルシス——違う

希望？——まさか！

愛？——笑えない。

何か伝えたいことや訴えたい事が、自分にあるとは思えない。

私は、無気力な落ちこぼれ人間なわけで。

生きるだけでいっぱいっぱいで、
特に毎日何にもしてないのに、休みたいわけで。

ああ、だめだ。

こんな事をだらだら考える日は、ろくな事がないんだから。

案の定、というか何というか、空からパラパラと雨が落ちてきた。

大通りにいた人たちは慌ただしく走ってゆく。

私もゆっくりと立ち上がる。

後ろ向きな思考のままです。

数日後、担当の男にホテルに誘われたのは、また別の機会に。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1642b/>

無気力人間の一日

2011年1月25日23時24分発行